

Title	語文 第109輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 109
Issue Date	2017-12-10
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/73316
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

編集後記

百九輯となる『語文』をお届けします。本号には古典二本・近代一本・国語学・本学の論文を掲載しました。本学を修了した会員の方、大学院生、本学教員と多彩な顔ぶれによる力作かと存じます。御批評を仰ぎたく、よろしくお願いいたします。

また会員の皆様による御著書の紹介も、六本を掲載しておりますが、偶然とはいえそのうち五本までが、島津忠夫先生・伊井春樹先生・後藤昭雄先生・蜂矢真郷先生という名誉教授の先生方の御本ということは目を見張るものがあります。阪大御退職後も引き続き旺盛な研究活動を展開しておられる証左でありましょう。後に続く者として、身の引き締まる思いを抱いた次第です。

さて、以前話題になった人文社会系の学問に関する議論は、今もなお時折湧き上がってきます。現在阪大の文学研究科長を務めておられる金水敏教授のブログの記事が、数ヶ月を経て突然話題になったことも記憶に新しいところです。文理を問わず、国立大学としての大阪大学が置かれている状況の厳しさは、大学内部に身を置く者として日々感じるところですが、答えが明解でない問題については、地道な調査研究を積み重ね、思考を継続してゆく力を磨くことは、どの分野においても必要とされるのだという意識を、学生とともに共有していきたく思っております。

なお本年四月より国語学専門分野に岸本忠実准教授をお迎えしております。来年一月六日開催予定の国文学会総会にて、学生による研究発表に続き、昨年一月に着任された勢田道生准教授とともに御講演いただく予定です。多数の方々の御参加をお待ちしています。
(加藤)

語文 第百九輯

平成二十九(二〇一七)年十二月五日 印刷
平成二十九(二〇一七)年十二月十日 発行

編集者・
発行者
大阪大学国語国文学会

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町一―五

大阪大学大学院文学研究科

日本文学・国語学研究室

代表 出原隆俊

振替口座〇〇九四〇―四―二四六四一

電話 〇六―六八五〇―五一一一

印刷
亜細亜印刷株式会社